

平成27年度 学校評価実施報告書

3 2回目評価

<p>・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定</p>					<p>・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">自己評価</th> </tr> <tr> <th>評価日</th><th>平成28年2月18日</th></tr> <tr> <th>評価者・組織</th><th>学校評価委員会</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分析 (成果と課題)</td><td>自己評価に対する改善策</td></tr> </tbody> </table>		自己評価		評価日	平成28年2月18日	評価者・組織	学校評価委員会	分析 (成果と課題)	自己評価に対する改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">学校関係者評価</th> </tr> <tr> <th>評価日</th><th>平成28年2月25日</th></tr> <tr> <th>評価者(いずれかに○)</th><td><input checked="" type="checkbox"/>学校運営協議会 <input type="checkbox"/>学校評議員</td></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">学校関係者評価による意見</td></tr> </tbody> </table>		学校関係者評価		評価日	平成28年2月25日	評価者(いずれかに○)	<input checked="" type="checkbox"/> 学校運営協議会 <input type="checkbox"/> 学校評議員	学校関係者評価による意見	
自己評価																									
評価日	平成28年2月18日																								
評価者・組織	学校評価委員会																								
分析 (成果と課題)	自己評価に対する改善策																								
学校関係者評価																									
評価日	平成28年2月25日																								
評価者(いずれかに○)	<input checked="" type="checkbox"/> 学校運営協議会 <input type="checkbox"/> 学校評議員																								
学校関係者評価による意見																									
1	確かに学力	<p>意欲をもって主体的に学び、考え方を伝え合う力の育成</p> <p>読書の習慣化</p>	<p>生活科・総合的な学習と各教科・道徳との関連を図った授業研究</p> <p>・朝読書の実施・読書週間の内容充実・保護者ボランティアとの連携</p>	<p>人の話をよく聞いて自分の考えを表現している</p> <p>進んで読書をしています</p>	<p>89%の児童が「そう思う」「大体そう思う」とし、6%ほど上昇</p> <p>低学年90%以上、高学年は72%に対し保護者は52%</p>	⇒	<p>思考ツールを活用した話合い活動が充実しつつある。伝え合い深め合うことに一定の成果がみられる。一方で話し合いのグループや人数の変化に対して自分の考えを熟考して表現することに課題がある。家庭学習についても個人差が見られる。</p>	<p>どんな場面でどのような思考ループが効果的であるかの実践・検証を積み重ね、方法のみにとらわれない学習展開を工夫していく。</p> <p>家庭学習の交流によって成果がみられつつあるので、個々だけでなく学年の系統性などについても研究に組み込んでいく。</p>	⇒	<p>子どもたちは生活科や総合的な学習を中心によく図書室に足を運び、調べ学習をしている。</p> <p>地域で生かした学習をこれからも充実させてほしい。</p>	<p>図書室の改造を図り、より使いやすくしていくよう、地域やPTAと連携して取り組みをすすめる。</p> <p>家庭学習コンクールなどを企画するなどして、保護者の人にもいろいろな子どもの学習について理解して支援してもらうようにする</p>														
2	豊かな心	<p>自尊感情・自己有用感の高まり</p> <p>望ましい言葉づかいの実践・規範意識の向上</p>	<p>自分や友だちの成長をふり返る心のアンケートや人権学習の充実</p> <p>感想語彙をもちいた文づくり話づくりの取組</p> <p>クラスマネジメント</p>	<p>自分はやればできると思うわたしにはよいところがある楽しい学校生活</p> <p>時と場を考え、正しい行動をしている</p>	<p>手学年は99%そう思う・大体そう思う。高学年は95%で上昇</p> <p>低学年4%高学年13%があまりそう思わないそう思わない</p>	⇒	<p>学校での取り組みを積極的に発信することにより子どものがんばりを地域や家庭で認めてもらっている。</p> <p>規範意識については正しいことをしている児童は上昇しているが、そう思わない児童もいるということも考えていかなければならない。</p>	<p>今後もさらに児童自らが成長や自己有用感を実感できるような場や学習内容を設定していく。挨拶や規範意識についてはSSTの取り組みなどを充実させるとともに、教職員自らがよい手本となって実践をすすめていく。</p>	⇒	<p>登校では登校班のリーダーが手本となって挨拶できる班が増えてきているので、高学年がぜひ率先して取り組んでほしい。下校時や放課後は引き続きとび出しあ自転車の乗り方などに気をつけて安全にすごしてほしい。</p>	<p>さまざまな世代とかかわりを大切にした学校運営協議会のもう方が工夫できた。特に夏と冬のPTA主催の行事に地域や学校がさらによくかかわっていけるよう連携を図っていくようにする。</p>														
3	健やかな体	<p>運動・体力の向上</p> <p>生活習慣の確立</p>	<p>・遊びやスポーツを通じた運動の習慣化</p> <p>・マラソンの取組</p> <p>・けんこうの日の取組</p> <p>・生活点検表の実施</p>	<p>・外で元気よく遊んでいる・たてわりや週1の外遊び時間の設定</p> <p>・早寝早起きをしている・家の仕事を進んでしている</p>	<p>低学年94%高学年85%と大きく向上している</p> <p>低学年20%高学年31%があまりそう思わない・そう思わない回答</p>	⇒	<p>今年度から週1回ハッピータイムとして昼休みの時間を延長することで、外遊びの活動が充実した。</p> <p>生活点検では個人差がどうしてもある。</p>	<p>委員会や児童会の企画・運営をさらに充実させて運動の機会を意図的に設けていくようになる。生活点検表に家庭からの通信欄で個にかえしてほしい。早寝は家庭の働きかけが一番。</p>	⇒	<p>昔のように放課後の遊びとして場所が限られていて思い切り運動できないこともあるので、今後も内容の充実を図り企画・実施していくようにする。</p>	<p>低学年をはじめ、PTAの行事では昔あそびを通して体幹を自然に鍛えられている。今後も内容の充実を図り企画・実施していくようにする。</p>														
4	独自の取組	<p>安全教育の推進</p> <p>情報発信の充実</p> <p>地域との連携や小中一貫教育の推進</p>	<p>・PTA・地域と連携した親子安全教室や自転車教室の取り組み</p> <p>・学年たよりやホームページでの積極的な情報発信と細かな更新</p> <p>・生活科・総合的な学習などのゲストティーチャー全学年実施</p> <p>・小中コンチネンタルプラン(共同作品作成)実施</p>	<p>・下校や自転車の乗り方など安全に注意し交通ルールを守っている</p> <p>・学校だよりの内容を工夫ホームページを定期的に更新するなど情報活動につとめる</p> <p>・単元構想とゲストティーチャーの年間計画作成</p> <p>・小中授業交流会や小小交流会の実施</p>	<p>そう思う・大体そう思うが96%で1回目より少し上昇保護者が94%と高い</p> <p>90%近くの保護者がぞう思う・大体そう思うと回答</p> <p>コンチネンタルプランの効果がみられ、より多くの教員が連携をとることができている</p>	⇒	<p>年々自転車教室の参加率とともに意識も高まりつつあるが、児童自身は危険な体験をしていないと自分は正しくルールを守っていると思いがちである。継続して取り組む必要がある。</p> <p>小小交流では、中学校生徒とともに合同作品作りに取り組めた。</p>	<p>自転車教室は年に1回あるが、取り組みをひろめて児童自身から安全について発信できるように委員会や児童会での取組を工夫する。</p> <p>中学校ブロックとしての新たな取り組みを企画していく。</p> <p>小中の合同作品はいろいろなどころで取り上げられて大変よかった。今後も連携を大切にしてほしい。</p>	⇒	<p>これまでPTA・地域と別々に行っていた自転車教室を連携して取り組むことで全体で声をかけて安全に気をつける姿勢ができていいのはいいこと。</p> <p>小中の合同作品はいろいろなどころで取り上げられて大変よかった。今後も連携を大切にしてほしい。</p>	<p>学校と連携した取り組みを今後も様々な方面から発信することと、子どもたちの様子を身近に理解してもらえるよう地域の方に向けての参観を工夫する。</p> <p>小中連携については、教科やテーマなどを絞って、共通した取り組みをすすめていくようにする。</p>														

4 総括・次年度の課題

- ・学校運営協議会では昨年度の課題から、話合いのテーマやもち方を工夫して評価につなげていくことができた。大きなテーマとなった「世代をこえたかかわりあい」については今後も話合いを重ねていけるように工夫したい。
- ・生活科・総合的な学習の時間を中心に、「探究」「協働」的な学びのスタイルを今後も研究し、学力との関連で伸ばしていくよう、単元の開発や授業スタイルの改善を図っていく。
- ・中学校ブロックの連携した取り組みとして、学力マネジメントシートをもとにさらに具体的な取組をすすめていくようにする。
- ・アンケート項目については学校目標や他のアンケートとの関連を図り、修正・更新していくようにする。